



ボランティアセンターだより



令和5年度 那賀町 ボランティアのつどい

1/13 木頭地区開催「避難シミュレーションゲーム～学校と地域で一緒に取り組む防災活動～」



木頭学園体育館にて児童生徒、PTA、地域住民が参加して避難シミュレーションゲームを実施しました。通常の避難訓練と異なり、がれきや倒壊物を想定した避難経路をケガをした人、高齢者、幼児を助けながらゴールを目指します。まず自分の身を守ること（けがをしない）、近隣での助け合うこと（日頃のおつきあい）の大切さを感じた訓練となりました。

1/21 相生地区開催「山間部の防災～災害時要配慮者支援について～」



相生地域自主防災会連合会との共催により、平野地区の自主防災会を対象とした防災研修を行いました。講師に山崎水紀夫氏（さんすい防災研究所）をむかえ、講義とグループワークを実施。地域の中で災害時に支援を必要とする人がどこにいるのか、避難時どのような困難があるのかを想像することで、他人ごとではなく、自分ごととして考える機会にもなります。自助・共助について今一度見直し、備えとつながりの点検を！

1/28 上那賀地区開催「災害時の食～災害時の食事と栄養について考える～」



災害で物流が停止すると食品や燃料が手に入りにくくなります。一方、災害時でもいつもと同じようなあたたかく栄養のある食事をする事は、災害を乗り越えるためにも心と体にとても大切なことです。今回、ローリングストックを活用した防災食（栄養士さん考案メニュー）を試食。食べなれておくと、いざというときに自分自身や家族を守ることに繋がります。

3/24 木沢地区開催「避難所開設訓練～避難所運営の基本を知ろう～」



木沢地域自主防災連合会との共催により、避難所開設訓練を実施しました。山崎水紀夫氏（さんすい防災研究所）を講師にむかえ、避難所における役割分担や運営についての講義と訓練をとおして、住民主体の安心できる避難所づくりについて実践を踏まえながら考えていきます。1月1日に能登半島地が発生し、改めて地震災害の恐ろしさを実感するとともに、日ごろの備えや心構えなどを見直す機会にもなりました。